

第 182 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	2018 年 12 月 17 日（月）午後 3 時 00 分～5 時 15 分 経済調査会会議室
出席委員	加藤佳孝、小路直彦、鈴木準、野口貴文（委員長）、笛田俊治（五十音順）

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																								
<p>1. 前回議事概要の確認</p> <p>2. 「積算資料」1月号土木系資材の価格変動の妥当性について</p>	<p>・ 前回議事概要案が承認された。</p> <p>・ 審査対象資材のうち、1月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 30%;"><品目></th> <th style="text-align: center; width: 30%;">[地区]</th> <th style="text-align: center; width: 40%;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">【上伸した資材】</td> </tr> <tr> <td>異形棒鋼</td> <td>札幌、岐阜、静岡、名古屋、四日市</td> <td>鉄屑価格が下落する中、販売側は売り腰を引き締め、全国的に市況は横ばい。価格未転嫁分を残していた北海道と、工場トラブルにより需給がやや逼迫している中部地区で市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td>さいたま、千葉、東京、横浜、長野、岐阜、静岡、名古屋、四日市、京都、大阪、神戸、高松、那覇</td> <td>メーカー各社は石炭価格や物流費の上昇を理由に4月出荷分より値上げを打ち出す。段階的に売り腰を強め、首都圏、長野、中部、大阪及び高松等の需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>前橋、長野</td> <td>前橋地区は6月、長野地区は7月の新規契約分より値上げを打ち出す。両地区とも有力な員外社は存在せず、需要者側は、安定供給を条件に値上げの一部を受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砂（荒目）</td> <td>京都、奈良</td> <td>京都・奈良ともに砂利協同組合が城陽市産の砂を100%供給している。足もとの生コン価格が上昇する中、結束して値上げに取組んだ結果、需要者側が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砂（荒目）（細目） コンクリート用砕石</td> <td>大阪</td> <td>大阪地区の生コン価格が上昇する中、これまで、再三の値上げ要請が受け入れられなかった砂利石材組合は、9月出荷分から共販事業を実施。生コン協組への売り腰を強めた結果、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砕石</td> <td>奈良</td> <td>奈良地区には大淀町の砕石業者1社が供給しており、業者側は安定した供給体制の維持に向けて4月より値上げを打ち出す。民間工事需要が多く見込まれる需要者側が、その一部を受け入れたため、市況上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	[地区]	(理由)	【上伸した資材】			異形棒鋼	札幌、岐阜、静岡、名古屋、四日市	鉄屑価格が下落する中、販売側は売り腰を引き締め、全国的に市況は横ばい。価格未転嫁分を残していた北海道と、工場トラブルにより需給がやや逼迫している中部地区で市況上伸。	セメント	さいたま、千葉、東京、横浜、長野、岐阜、静岡、名古屋、四日市、京都、大阪、神戸、高松、那覇	メーカー各社は石炭価格や物流費の上昇を理由に4月出荷分より値上げを打ち出す。段階的に売り腰を強め、首都圏、長野、中部、大阪及び高松等の需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。	生コンクリート	前橋、長野	前橋地区は6月、長野地区は7月の新規契約分より値上げを打ち出す。両地区とも有力な員外社は存在せず、需要者側は、安定供給を条件に値上げの一部を受け入れ、市況上伸。	コンクリート用砂（荒目）	京都、奈良	京都・奈良ともに砂利協同組合が城陽市産の砂を100%供給している。足もとの生コン価格が上昇する中、結束して値上げに取組んだ結果、需要者側が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。	コンクリート用砂（荒目）（細目） コンクリート用砕石	大阪	大阪地区の生コン価格が上昇する中、これまで、再三の値上げ要請が受け入れられなかった砂利石材組合は、9月出荷分から共販事業を実施。生コン協組への売り腰を強めた結果、市況上伸。	コンクリート用砕石	奈良	奈良地区には大淀町の砕石業者1社が供給しており、業者側は安定した供給体制の維持に向けて4月より値上げを打ち出す。民間工事需要が多く見込まれる需要者側が、その一部を受け入れたため、市況上伸。
<品目>	[地区]	(理由)																							
【上伸した資材】																									
異形棒鋼	札幌、岐阜、静岡、名古屋、四日市	鉄屑価格が下落する中、販売側は売り腰を引き締め、全国的に市況は横ばい。価格未転嫁分を残していた北海道と、工場トラブルにより需給がやや逼迫している中部地区で市況上伸。																							
セメント	さいたま、千葉、東京、横浜、長野、岐阜、静岡、名古屋、四日市、京都、大阪、神戸、高松、那覇	メーカー各社は石炭価格や物流費の上昇を理由に4月出荷分より値上げを打ち出す。段階的に売り腰を強め、首都圏、長野、中部、大阪及び高松等の需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。																							
生コンクリート	前橋、長野	前橋地区は6月、長野地区は7月の新規契約分より値上げを打ち出す。両地区とも有力な員外社は存在せず、需要者側は、安定供給を条件に値上げの一部を受け入れ、市況上伸。																							
コンクリート用砂（荒目）	京都、奈良	京都・奈良ともに砂利協同組合が城陽市産の砂を100%供給している。足もとの生コン価格が上昇する中、結束して値上げに取組んだ結果、需要者側が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。																							
コンクリート用砂（荒目）（細目） コンクリート用砕石	大阪	大阪地区の生コン価格が上昇する中、これまで、再三の値上げ要請が受け入れられなかった砂利石材組合は、9月出荷分から共販事業を実施。生コン協組への売り腰を強めた結果、市況上伸。																							
コンクリート用砕石	奈良	奈良地区には大淀町の砕石業者1社が供給しており、業者側は安定した供給体制の維持に向けて4月より値上げを打ち出す。民間工事需要が多く見込まれる需要者側が、その一部を受け入れたため、市況上伸。																							

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
<p>○大阪周辺の骨材が値上がりしているが、需要者側への無理なしわ寄せや今後の需要に悪い影響などはないか。</p> <p>○大阪周辺の骨材の値上げは、大阪万博の開催決定と関連はあるか。</p> <p>○生コン業界は生コン需要が保たれるための努力よりも、利益確保のための価格交渉一辺倒のように見えるが。</p> <p>3.「積算資料」1月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p>	ストレートアスファルト	全国 原油価格は10月上旬までの騰勢局面が一転、中旬以降に急落した。この間、為替は緩やかな円安基調で推移。上げて下げでの展開中、ディーラーの強気な販売姿勢が奏功し、市況上伸。
	ボックスカルバート	大阪 鉄筋価格及び運搬費の上昇等を背景に、4月以降、各メーカーは値上げを打ち出す。供給側の足並みが揃う中、需要者側も安定供給のために値上げを受け入れ、安値が切り上がる形で市況上伸となった。
	コンクリート積みブロック	鳥取、山口、高松 鳥取地区は30年4月、山口地区は29年4月に値上げを打ち出す。いずれも需要減少に伴うコストアップが理由。高松地区はシェア95%を超えるメーカーが、安定供給の維持を目的に値上げを打ち出し、市況上伸。
	【下落した資材】 鉄屑	全国 輸出向けの不振が続く中、鉄屑の発生量は好調に推移し、その多くが国内向けに流れた。市中の荷余り感は著しく、主要な需要者は炉前購入価格を断続的に引き下げ、前月に続き市況下落。
	軽油	全国 元売会社は原油調達コストを反映し、10月第3週から連続して卸価格を引き下げた。相場下落が続き、先安観測が支配的な中、数量指向の販売会社による値下げの動きが加速し、市況下落。
	<p>・今回の値上げは、大阪地区の生コン価格が上昇する中、原料となる砂・碎石の供給側が結束して値上げ交渉に取り組んだ結果である。悪い影響かどうかは別にして、他地区と比較して生コン価格が高い地区なので、公共発注の件数が絞られてくるという懸念は残る。しかし、市場取引価格が積算に反映されることで、元請業者に逆ざやが発生する可能性は低くなる。</p> <p>・1月号の調査期間内に大阪万博の開催決定が発表されたが、砂・碎石類の値上げ交渉はそれ以前より行われており、市況上伸が確認できた時期と重なっただけで、関連性はない。値上げ交渉自体も、万博関連工事の発注を念頭に置いたものであるとは言えない。</p> <p>・生コンクリートの技術開発が新たな需要開拓につながるとすれば、これまで、そのような研究は生コン業界ではなく、建設会社の方が担ってきたという経緯がある。現状、生コン業界側に需要増加のための努力を求めることは難しいと思われる。</p> <p>・審査対象資材のうち、1月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p>	

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果		
	<品目>	【地区】	(理由)
<p>○板ガラスの価格上伸は全国一斉となっているが、これは関東の値上がりが全国に波及したものか。</p> <p>○価格の指標としているフロート板ガラスであるが、最近の使用頻度は低いのではないか。</p> <p>4. 「土木施工単価」冬号土木工事費の価格変動の妥当性について</p>	<p>【上伸した資材】 型枠用合板</p>	<p>全国</p>	<p>年末に向け荷動きが活発になる中、無塗装品の在庫は少なく、材料手配の困難な状況が続いている。需要者側は当用買いに徹しているが、一段高い製品が取引の中心となり、市況上伸。</p>
	<p>正角材 杉 (KD)</p>	<p>全国</p>	<p>11月中旬になり、ようやく秋需の盛り上がりが見え始め、プレカット工場の稼働率も回復している。荷動きが堅調に推移する中、販売側は売り腰を強め、市況上伸。</p>
	<p>板ガラス</p>	<p>全国</p>	<p>再開発工事の本格化により需要は堅調。春先のメーカーによる値上げの打ち出し以降、専門工事業者が続けていた材工共工事費の引き上げ交渉は、元請業者が材料手配を優先させたことで進展し、市況上伸。</p>
	<p>・メーカーの値上げ打ち出しから、全国の特約店が一斉に値上げに動いた結果であり、関東の値上がりが波及したというものではない。</p>		
	<p>・指摘の通り、ビル建築物において単板のフロート板ガラスが使用されるケースは少なく、最近は多くのビル建築物で複層ガラスが採用されている。</p>		
	<p>・審査対象工種のうち、冬号で掲載価格に変動が生じる土木工種、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p>		
	<品目>	【地区】	(理由)
	【上伸した工種】		
	鉄筋工	沖縄	<p>那覇空港滑走路拡幅工事をはじめとして、土木需要の増加が顕著であり、県内の需給はひっ迫。専門工事業者側の値上げ要請に対し、工期を優先する需要者側がこれを受け入れ、市況上伸。</p>
	【下落した工種】		
	鉄筋工	東京	<p>土木関連のオリンピック需要は落ち着きを見せ、都内の需要は総じて盛り上がりを欠いている。需給の緩和から、専門工事業者側は需要者側の安値要求を受け入れ、市況下落。</p>
<p>○東京の鉄筋工市場単価は下落したが、関西地区の価格よりは、まだ高水準にある。今後の価格動向について、どのように見ているか。</p>	<p>・冬号における東京地区での下落は、オリンピック需要等がピークを過ぎたことによる一時的な需給緩和を反映したもの。建設現場での週休二日対応や、鉄筋工を始めとした慢性的な職人不足などを考えると、市場単価は、中長期的には強含みで推移するものと見ている。</p>		

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																														
○土木鉄筋工について、材料・施工費共に関東よりも関西の方が安価な理由は何か。	<p>・関東地区と関西地区の鉄筋工市場単価に差が出始めたのは、東日本大震災以降である。毎号の調査においても、関西地区の鉄筋工市場単価が掲載価格水準であることは確認しているが、市場での取引価格を調査したもので、関西地区の方が関東地区より安価な理由を明確にすることは難しい。</p>																														
5. 「建築施工単価」冬号建築工事費の価格変動の妥当性について	<p>・審査対象工種のうち、冬号で掲載価格に変動が生じる建築工種、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table border="1" data-bbox="638 528 1461 1827"> <thead> <tr> <th data-bbox="638 528 861 562"><品目></th> <th data-bbox="861 528 1101 562">[地区]</th> <th data-bbox="1101 528 1461 562">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="638 562 1461 595">【上伸した工種】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 595 861 797">コンクリート工事</td> <td data-bbox="861 595 1101 797">仙台、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇</td> <td data-bbox="1101 595 1461 797">需要は、再開発工事等を中心に堅調に推移。専門工事業者の稼働率は高水準にあり、取引価格を引き上げるべく交渉を進めた結果、一部地区を除き、全国的に市況上伸。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 797 861 999">型枠工事</td> <td data-bbox="861 797 1101 999">東京、新潟、大阪、福岡、那覇</td> <td data-bbox="1101 797 1461 999">一部地区を中心に遅れていた中小物件の動きが本格化。潤沢な工事量を背景にした専門工事業者側の値上げ要請に対し、工期を優先する需要者側がこれを受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 999 861 1200">鉄筋工事</td> <td data-bbox="861 999 1101 1200">新潟、大阪、福岡、那覇</td> <td data-bbox="1101 999 1461 1200">需要は、再開発工事等を中心に堅調に推移。専門工事業者の稼働率は高水準にあり、取引価格を引き上げるべく交渉を進めた結果、一部地区で市況上伸。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1200 861 1402">ガラス工事</td> <td data-bbox="861 1200 1101 1402">全国</td> <td data-bbox="1101 1200 1461 1402">板ガラスメーカーの材料値上げ要請を受けて、専門工事業者側が続けていた材工共工事費の引き上げ交渉は、秋口以降、需要者側が材料手配を優先させたことで進展し、全国的に市況上伸。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1402 861 1603">絶縁ケーブル工事</td> <td data-bbox="861 1402 1101 1603">全国</td> <td data-bbox="1101 1402 1461 1603">電工の労務費が上昇傾向にあり、専門工事業者側は採算重視の姿勢を強めている。労務需給の悪化による工期遅れの影響もあり、需要者側が取引価格の引き上げを受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1603 861 1827">ダクト工事</td> <td data-bbox="861 1603 1101 1827">全国</td> <td data-bbox="1101 1603 1461 1827">再開発案件を中心に需要は旺盛で、労務需給がひっ迫。専門工事業者側は職人不足を背景に価格の引き上げに努め、労務確保と工期を優先する需要者側がこれを受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="638 1827 1461 1861">【下落した工種】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1861 861 2040">型枠工事</td> <td data-bbox="861 1861 1101 2040">仙台</td> <td data-bbox="1101 1861 1461 2040">RC造からS造へのシフトが顕著で、型枠工事の需給は緩和。先行きの需要増が見込めない中、需要者側の値下げ要求に応じる形で市況は下落した。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	[地区]	(理由)	【上伸した工種】			コンクリート工事	仙台、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇	需要は、再開発工事等を中心に堅調に推移。専門工事業者の稼働率は高水準にあり、取引価格を引き上げるべく交渉を進めた結果、一部地区を除き、全国的に市況上伸。	型枠工事	東京、新潟、大阪、福岡、那覇	一部地区を中心に遅れていた中小物件の動きが本格化。潤沢な工事量を背景にした専門工事業者側の値上げ要請に対し、工期を優先する需要者側がこれを受け入れ、市況上伸。	鉄筋工事	新潟、大阪、福岡、那覇	需要は、再開発工事等を中心に堅調に推移。専門工事業者の稼働率は高水準にあり、取引価格を引き上げるべく交渉を進めた結果、一部地区で市況上伸。	ガラス工事	全国	板ガラスメーカーの材料値上げ要請を受けて、専門工事業者側が続けていた材工共工事費の引き上げ交渉は、秋口以降、需要者側が材料手配を優先させたことで進展し、全国的に市況上伸。	絶縁ケーブル工事	全国	電工の労務費が上昇傾向にあり、専門工事業者側は採算重視の姿勢を強めている。労務需給の悪化による工期遅れの影響もあり、需要者側が取引価格の引き上げを受け入れ、市況上伸。	ダクト工事	全国	再開発案件を中心に需要は旺盛で、労務需給がひっ迫。専門工事業者側は職人不足を背景に価格の引き上げに努め、労務確保と工期を優先する需要者側がこれを受け入れ、市況上伸。	【下落した工種】			型枠工事	仙台	RC造からS造へのシフトが顕著で、型枠工事の需給は緩和。先行きの需要増が見込めない中、需要者側の値下げ要求に応じる形で市況は下落した。
<品目>	[地区]	(理由)																													
【上伸した工種】																															
コンクリート工事	仙台、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇	需要は、再開発工事等を中心に堅調に推移。専門工事業者の稼働率は高水準にあり、取引価格を引き上げるべく交渉を進めた結果、一部地区を除き、全国的に市況上伸。																													
型枠工事	東京、新潟、大阪、福岡、那覇	一部地区を中心に遅れていた中小物件の動きが本格化。潤沢な工事量を背景にした専門工事業者側の値上げ要請に対し、工期を優先する需要者側がこれを受け入れ、市況上伸。																													
鉄筋工事	新潟、大阪、福岡、那覇	需要は、再開発工事等を中心に堅調に推移。専門工事業者の稼働率は高水準にあり、取引価格を引き上げるべく交渉を進めた結果、一部地区で市況上伸。																													
ガラス工事	全国	板ガラスメーカーの材料値上げ要請を受けて、専門工事業者側が続けていた材工共工事費の引き上げ交渉は、秋口以降、需要者側が材料手配を優先させたことで進展し、全国的に市況上伸。																													
絶縁ケーブル工事	全国	電工の労務費が上昇傾向にあり、専門工事業者側は採算重視の姿勢を強めている。労務需給の悪化による工期遅れの影響もあり、需要者側が取引価格の引き上げを受け入れ、市況上伸。																													
ダクト工事	全国	再開発案件を中心に需要は旺盛で、労務需給がひっ迫。専門工事業者側は職人不足を背景に価格の引き上げに努め、労務確保と工期を優先する需要者側がこれを受け入れ、市況上伸。																													
【下落した工種】																															
型枠工事	仙台	RC造からS造へのシフトが顕著で、型枠工事の需給は緩和。先行きの需要増が見込めない中、需要者側の値下げ要求に応じる形で市況は下落した。																													

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果
<p>○絶縁ケーブル工事の新設工事と改修工事の割合はどの程度か。また、市場単価は改修工事に適用可能か。</p> <p>○絶縁ケーブル工事の市場単価は、ケーブルの規格毎に単価が異なっているが、作業員はいずれも電工で良いのか。</p> <p>6. その他 (1) 次回開催予定</p>	<p>・絶縁ケーブル工事について、ヒアリング調査では新設工事の割合の方が多いと聞いている。また、市場単価の価格決定にあたっては、新設工事を対象としており、改修工事に市場単価は適用できない。ただし、ヒアリング調査時には多くの物件を踏まえて市況動向を聞き取るため、改修工事物件についても、参考として価格情報を収集している。</p> <p>・絶縁ケーブル工事は材工共価格を調査しており、市場単価の規格間格差については、ヒアリング調査によって確認することとしている。また、ケーブルの規格が異なっても、施工する作業員はいずれも電工で間違いない。</p> <p>・2019年1月17日（木）10時～12時と決定。</p> <p style="text-align: right;">(以 上)</p>

価格審査委員会規約

(目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

(委員会の事務)

第 2 条 委員会は、理事長の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

(委員会の委員及び任期)

第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、理事長が委嘱する。

- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
- 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、非常勤とする。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

(審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて理事長に対し審査結果の報告または助言を行う。

(意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由、他調査機関の調査結果との比較資料等を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改訂施行する。